

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立竹木場小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・学校教育目標「夢を語って、夢を追う児童生徒の育成」～「継続」「挑戦」「進化」～のもと、4校による合同研修や推進会議を実施し、協力・交流の機会や情報の共有を通して、学力向上、キャリア教育、人権・同和教育など、共に研鑽を積んだ。</p> <p>・学力向上については、「唐津の学びスタイル」をもとに、小中連携による研究に添って、単元による学習計画表の活用と授業と運動した家庭学習の工夫に取り組んだ。以前から取り組んでいることを教師間で協議を重ね、学習計画表を活用して単元をひとまとまりにした授業を行っている。今後、「唐津の学びスタイル」の各項目を全職員で吟味し、重点項目を設定し、授業改善に取り組んでいく。</p> <p>・児童主体のあいさつ運動を実施しており、中学生にならって、立ち止まりあいさつに取り組む生徒が増えている。学校行事・児童会においても児童の出番が確保され、自分たちの手で行事を成功させたという達成感を感じさせることができる。</p> <p>・業務改善については、過度な超過勤務はなく勤務時間についてはほぼ適正であるといえる。ただ、定期的・個人的にみると、取組が十分でないこともあり、各自で自分のライフスタイルを意識して業務を分担していくことが、今年度の課題である。</p>
------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 学校教育目標	<p>夢を語って夢を追う児童生徒の育成</p> <p>「継続」・「挑戦」・「進化」</p>
----------	-------------------------------------------------------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校区内の学校連携に根ざした校内研究（キャリア教育・学力向上）の推進 ○分かる授業の構築と確かな学力の育成 ○児童会・生徒会活動の活性化 ○業務改善と働き方改革の推進
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標（数値目標）					
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践 ○主体的・対話的で深い学びを実現する授業の実践	○学力向上対策評価シートに示したマイルドプランの成果指標を達成した教師80%以上 ○「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童80%以上 ○「文章の意味が分かるようになった」に対して肯定的な回答をする児童の割合60%以上	・教職員間でマイルドプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。 ・「唐津の学びスタイル」を共通理解し、個別最適な学びについて、研修を深める。 ・組織を見直し、授業づくり部、基礎学力向上部の2部により、校内研修の充実を図る。 ・校内研あるいは公開授業で学年グループ1回は必ず研究授業を行い、全教職員で授業研究会を実施する。 ・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」を踏まえ、全教科半以上の授業で「話し合う活動」を設定する。 ・例年行ってきた協働的な学びについて再認識し、様々な形態により実践に取り組む。 ・授業規律や教室環境、家庭学習を今一度見直し、基礎的な学力の向上を目指す。	B	・学力向上対策評価シートに示した共通実践を意識した授業に取り組む、成果指標を達成した教師が80%以上を達成することができた。 ・「唐津の学びスタイル」個別最適な学びと共同的な学びの教職員の現状の振り返りが半数を超えているが、さらに取組を増やしていく必要がある。 ・研究授業、公開授業は予定通り実施できた。日々の授業でもペアやグループで話し合う活動を取り入れた授業実践やまとめや振り返りを文章で書く活動を取り入れている。今後も継続して実践していくことが必要だと感じる。	B	・学校の先生方がしっかりと取り組んでいる。今後ともしっかりとお願いしたい。 ・志を持つことは、大切なことだと思う。 ・タブレットや電子黒板の活用がよくなってきていることがわかった。学習内容に合った効果的な活用を今後とも考えていってほしい。 ・全国や県の学力学習調査では、県平均を下まわっている項目もあったが、先生方の授業での工夫もよくなってきているようだ。今後とも学力向上の取組に尽力してほしい。
●心の教育	●児童徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○人権や道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童が80%以上	・挨拶運動等を推進し、児童の良さと頑張りを称賛する。 ・人権集会や道徳科の授業を通して、互いを尊重し合うことのできる児童の育成を図る。 ・全職員共通理解のもと言葉遣いの指導をし、授業中は「さん呼び」の徹底を行う。 ・縦割り班活動を通して、思いやりの心を育てる。	B	・校内で、相手を意識した大きな声であいさつをする児童の声を多く聞くことができるようになってきている。今後、いつでも、どこでも、誰にでも意識させたい。 ・全体的には、人に優しい言葉遣いをするようになってきている。	B	・上級生が下級生のお世話をよくしているようだ。 ・お互いがよく知っているのので、仲が良い。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等（いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対処等）について組織的対応ができていると回答した教員80%以上	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルの作成・見直しを行う。 ・毎月児童に生活アンケートをとる、また、毎月職員的生活打合せを行い、いじめの早期発見に努める。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に2回以上行う。 ・保護者やSC、SSWとの連携を行い教育相談体制を充実させる。	A	・毎月、児童にいじめアンケートをとり、生活打合せで情報を共有することで、学校組織として、いじめの早期発見を行い、早期対応を行うことができています。 ・日頃の道徳的な指導の他、「なかよし集会」を実施し児童の人権意識を高めている。不登校児童はいないが、友達同士の言葉かけなど改善していく必要がある。	A	・日頃から、思いやりの心を持つような、学習を続けていってほしい。 ・いじめ等の問題は、小さいうちから対応をしていることの積み重ねが大事である。
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒60%以上	・「夢を語って夢を追う児童」という学校教育目標に向かって、児童が主体的に活動する場面を設定したり、自主的活動を学校行事や学級活動に取り入れられたりするなど、承認する場をより多く設定する。	A	・実行委員の活動や児童朝会を行うことで、児童が主体となって意欲的に活動に取り組むことができた。3学期にはアピール集会を設定し児童から発表したいことを募集して実施した。	A	・関わり合う人たちが、認め合えるような集まりであってほしい。そうすることで、意欲が出たり、自信がついてくると思う。
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	●発達段階にふさわしい時間に就寝している児童80%以上、朝食をきちんと食べている児童90%以上、テレビやゲームの時間の適切な時間でできている児童の70%以上	・年間2回の学校・生活アンケートを実施して、児童の実態を把握して望ましい生活習慣の形成に努める。	A	・6月と10月に学校・生活アンケートを実施することができた。アンケート結果から児童の変容を把握し、課題については、職員と共通理解し、改善に努めた。懇談会を通して家庭に知らせ、協力を得られるように努めた。	A	・アンケートを取ったら、子どもたちに返すことで良い循環になると思う。続けて欲しい。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○全職員の時間外勤務時間の平均が4.5時間以内にする。	・各自でライフスタイルに合う定時退勤日を設定し、徹底する。 ・会議資料をデジタル化することにより、会議準備及び会議時間の短縮をする。 ・職員掲示板機能を活用し、連絡会の内容を効果的に伝達する。 ・業務記録のデジタル化及び簡略化による時間外勤務の適正化	A	・ほとんどの職員が上限を守れている。超過勤務職員には個別に対応した。毎日10分早く退勤することを呼びかけている。業務の平準化を図るために、分掌事務の年間一覧表を作って来年度活用する。 ・長期休業を中心に、年休を取得しやすい業務計画をたてることができた。 ・行事後、直ちに来年に向けて修正案を記入することができている。	A	・ライフワークバランスを考えながら、メリハリをつけて業務にあたってほしい。 ・メンタルケアはされていると思うが、管理職を中心に推進してほしい。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容		具体的取組	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標（数値目標）					
○キャリア教育	○児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒60%以上	・スピーチ集会の実施 ・キャリアパスポートの活用	A	・「自分の将来の生き方について考えることがあるに肯定的な回答をした児童が80%以上だった。	A	・私たちが、夢を追い続けるような学校、領域にしていきたい。
○特別活動の充実	○児童の主体的活動の活性化	○児童会を中心に学校生活を充実させようと努力していると回答する児童85%以上	・児童会活動による学校行事の実施 ・児童が主体的に取り組む活動の充実	B	・実行委員を募っての学校行事の運営やたてわり活動など、児童主体の活動を実施することができた。	B	・取り組み始めたことで、引き続き、主体性のある子どもを育てて欲しい。

5 総合評価・次年度への展望	<p>●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育</p> <p>・本校の学校教育目標をもとに、定期的な本校の課題を出し合い、解決に向けて、全職員共通理解のもと、研鑽を積んだ。 ・中学校区内で合同研修や推進会議を実施し、学校間連携を進めた。R6年度は統合に向けて、より一層交流の機会を増やし情報の共有を図る予定である。 ・学力向上については、本年度もタブレットの活用について研修した。「学力向上対策評価シート」や動画視聴を行い、課題の共有と目標の設定を行った。唐津市教育委員会の「唐津の学びスタイル」に提案されている「4つの感」を大切にしながら、授業改善に取り組んだ。 ・学校行事等においては、実行委員会形式での指導の手法で、児童に出番と役割を与え、承認することで、達成感や成就感を感じさせることができる。次年度は、校内研究にも絡めていく。 ・業務改善については、勤務時間についてはほぼ適正である。教材等は学年や教科のフォルダに保存し、次年度以降に利活用していく。また、年間を通しての校務分掌での業務の一覧表を元に、業務の平準化を図る。</p>
----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------